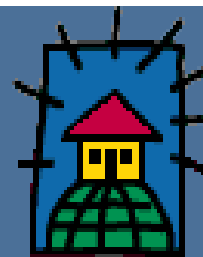
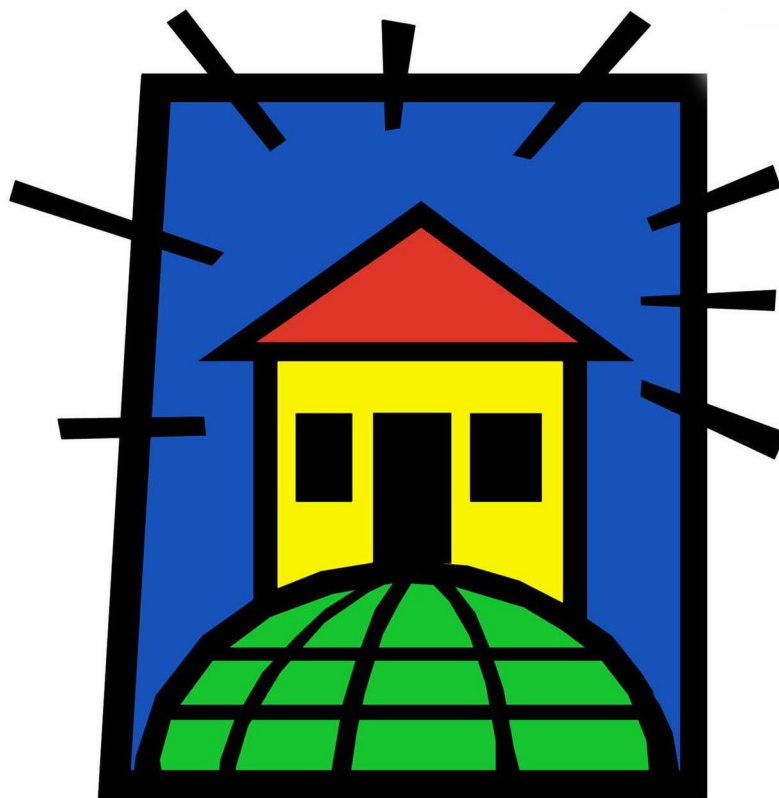


HABITAT FOR HUMANITY INTERNATIONAL'S  
Global Village Program



## チームリーダーの役割



特別非営利活動法人ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン

## 1. グローバルヴィレッジにお申し込みいただく前に

ハビタット・フォー・ヒューマニティのグローバルヴィレッジに関心をお寄せくださり、ありがとうございます。下記の点につきましてご理解いただいた上でのご参加をお願いしております。

1. ハビタット・フォー・ヒューマニティは旅行会社ではありません。参加者の皆さんとハビタットは対等なパートナーシップに基づき、協力してそれぞれの役割や責任を果たしながら、グローバルヴィレッジをつくりあげていきます。
2. グローバルヴィレッジは、「誰もがきちんとした住居を持てる世界を目指す」というハビタットのビジョンに基づいてつくり、ハビタットの理念にしたがって運営されています。このプログラムに参加するということは、ハビタットのビジョンや理念を尊重し、受け入れることを意味します。
3. グローバルヴィレッジではチームリーダーもしくは渉外担当者が日本側コーディネーターや現地のコーディネーターとやりとりしながら準備を進めていきます。受け入れ先のニーズや状況と皆さんの要望とのバランスをとりながら行われますので、希望が叶わない場合もあります。

## チームリーダーとしての心構え

### —チームリーダーをお引き受けいただく前に—

以下の項目を守る自信がない場合には、チームリーダーとしてのお申し込みはご遠慮ください。途中でリーダーとして不適格だと判断した場合には、チームリーダーの変更をお願いします。

1. チームとしての目的や目標を設定し、メンバーと共有してください。
2. 自分がペースメーカーになり、進捗管理をしてください。進捗管理はリーダーの責任であり、日本側のコーディネーターはそのサポートをするにすぎません。
3. チームに必ず一人は英語で問題なくコミュニケーションがとれる人を加えてください。また出発までにチーム全体の語学力を上げておいてください。
4. 書類提出や送金などの締め切りは厳守してください。
5. 提出書類や日程表、予算表などに不備がないか、責任を持って最終確認をしてください。
6. ミーティング以外の意思決定の方法を決めておいてください。早急に判断が必要な場合も出てきます。
7. メールは毎日チェックし、48 時間以内に返信してください。回答に時間がかかる場合には、その旨を連絡してください。
8. 相手国のコーディネーターからメールが3日以上返ってこないようなら、メールを再送してください。
9. 相手国コーディネーターや関係者とメールをする場合には、日本側コーディネーターに必ず CC(同送)するようにしてください。
10. やむを得ずしばらく連絡がとれなくなる場合には、前もって日本側・受入国側コーディネーターにその旨を伝え、代理を立てるようにしてください。
11. 相手国のコーディネーターに質問をするときには、分かりやすいように箇条書きにし、明確な表現を心がけてください。

\* リーダーと別に渉外担当者を設ける場合には、渉外担当者も上記の事柄を守ってください。

### 3. ハビタット・フォー・ヒューマニティ と グローバルヴィレッジ

#### (1) ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナルとは？

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナル(以下 HFHI)は、世界中に存在する劣悪な住宅事情の解消に向けて、キリスト教の理念に基づき活動する非営利団体です。HFHI は、1976 年にミラード・フラーと妻リンダによって設立され、現在世界中の 100 ヶ国で活動しています。これまでにおよそ 200,000 軒以上の住宅を建築しています。HFHI の活動は無償で与えるプログラムでなく、人種や信仰を問わず、住まいを必要としている家族と協力し、持ち家を推奨するものです。ボランティアによる労働と資金、物資の寄付に支えられ、ハビタットはシンプルでも丈夫な家の建築及び修理を行っています。ハビタットの家は低所得の家族でも購入が可能な価格で提供されています。販売による利益は一切含まれず、返済には利子が課されていません。ホームオーナーの毎月の返済金は、更なる家の建築のために利用されます。ホームオーナーは、月々一定額を返済することに加え、自分の家と近隣家族の家の建築に何百時間か従事します。ホームオーナーの生活は変わり、自尊心と自立心を持つようになります。

#### (2) ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンとは？

HFHI は、増加する日本からの GV 参加者に対応するためと、まだまだ不足する住居建築活動をさらに促進するためのリソースの開発のために、2001 年に日本サポート事務局を開設しました。そして、2003 年 11 月に特定非営利活動法人(通称 NPO 法人、会社法人番号 0112-05-001265)の認証を得て、日本での本格的な活動をスタートさせました。

世界の人口の 25% 以上の 15 億人家族が、いまだ劣悪な住環境で暮らすか、家のない厳しい生活のなかたたかっています。そして 5 年以内に、さらに 10 億人の人々が家を失うと言われています。HFHI ジャパンの設立は、住居を人権の問題と考え、世界の貧困住居の問題解決にさらなる一翼を担うことです。

#### (3) グローバルヴィレッジとは？

グローバルヴィレッジ(以下 GV)は 1988 年に HFHI 内に設立されたユニークで魅力的なボランティアプログラムです。GV は、世界の 100 ヶ国以上で家の建築や修復に従事してきました。この 100 ヶ国の内 29 ヶ国はアジア太平洋にあります。通常 10 人から 20 人で構成されるボランティアチームは、自身で選んだ奉仕先の国(受入国)へ行き、その国の住宅事情を知り、コミュニティの一員となるのです。建築経験は必要ありません。チームは、特別な技術を必要としない仕事、物を持ち上げたり、運んだり、混ぜたり、ハンマーやのこぎりを使ったり、ブロックを置くといった仕事に従事します。全てのチームは、将来のホームオーナー、地域のボランティアおよび熟練した建設作業員と共に仕事をします。活動は、現場監督による建築作業の指導のもとで行われます。

14 歳以上のボランティアは 7~10 日間の建築ボランティアを通し、とても価値のある経験ができます。各チームのニーズや関心が満たされるような個別のスケジュールが組まれ、地元の人たちと多くの時間を共有し対話を持つことで、長く続く関係を築くことができます。ボランティアによる労働貢献に加えて、GV チームは、自国での資金集めや啓発活動などにより財政面でも貢献します。これらのお金は受入国で家を建てるのに使われます。GV チームの支援により建てられた家は、ホームオーナーが非営利価格で購入します。

GV チームは HFHI の主要な活動であり、HFHI の使命の遂行に重要な貢献をしています。受入先における GV チームの存在は、HFHI の活動に対する地元住民の意識と理解を高める助けになっています。それと同時に、チームメンバー自身も GV へ参加することで得るものがあります。チームメンバーは現地コミュニティに溶け込むという忘れ難い経験をしますが、異なる文化と言葉に対する挑戦を通じて自己啓発し成長を遂げ、自国へ戻ります。チームメンバーの仲間や地元住民との永続的な関係が創られ、劣悪な住宅環境や開発問題に対する理解が深められます。あるボランティアは「時間が経つにつれて、私たちがそこにいる理由が単に家を建てることではないことを悟りました。人々と一緒に住み、彼らと話し、彼らから学び、夢を共有しその夢を実現させるためにともに働いた経験は私を大きく変えました。」と感想を残しています。

現在、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンでは、年間40～50チーム、約600～750名のボランティアの皆さんを各国へ送り出しています。

#### (4)よくある質問

よく問い合わせがある質問とその答えを以下にまとめましたので、ご参照ください。

<p><b>グローバルヴィレッジの参加費用は大体いくらですか</b></p> <p>→10 日間のプログラムの場合、一人あたりのおおよその費用は以下のようにになります(航空チケット価格に左右されます)</p> <p>東南アジア: ￥120,000 - ￥200,000</p> <p>南アジア: ￥150,000 - ￥220,000</p> <p>太平洋: ￥180,000 - ￥250,000</p>
<p><b>どのような受入国がありますか</b></p> <p>→日本からのチームを受け入れている主な国は以下の通りです。</p> <p>フィリピン、タイ、バングラデシュ、インド、インドネシア、マレーシア、モンゴル、パプアニューギニア、フィジー、サモア、キルギスタン、ルーマニアなど</p> <p>* 時期やチームの規模などにより受入可能国は変わります。</p>
<p><b>参加資格や条件はありますか</b></p> <p>→参加者の建築経験やスキルは一切問われません。14歳以上であればどなたでも参加していただけますし、年齢に上限はありません。20歳未満の未成年者が参加する場合は、保護者もしくは保護者が書面で任命した成人の引率者が同伴するか、学校やその他の団体に属していることが条件になります。この場合の学校・団体とは保護者が書面で任命した成人同伴者の割合が未成年者10人に対して必ず1人は同伴するという条件を満たしたものを指します。</p>
<p><b>プログラムでの使用言語は何になりますか。</b></p> <p>→日本側のコーディネーターとやりとりする場合は日本語か英語、相手国のコーディネーターとやりとりする場合には英語、現地では英語と現地の言語を併用することになります。</p>
<p><b>1チームの人数はどれくらいが適切でしょうか</b></p> <p>→少なくとも10人以上のメンバーを集めてください。上限は受入国のコーディネーターと相談させていただくことになります。</p>

## 4. グローバルヴィレッジが参加者にもたらすもの

グローバルヴィレッジ(GV)チームは、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナルのミッションに重大な貢献をもたらす、ハビタットにはなくてはならない大切なパートナーです。海外からの活動参加者の存在によって、これまでハビタットに親しみのなかった地域市民がハビタットの活動を認識し、理解するきっかけが生まれます。また参加者自身も、受入国のコミュニティと密接に触れ合う機会を持ち、思い出に残るユニークな海外旅行を経験することができます。参加者は、異文化や他言語と向き合うことでこれまでにない自己啓発の機会を得、帰国時には以前と違う自分を発見することでしょう。チームメンバーや現地の人々との友情が生まれ、貧困住居問題や開発問題への理解が深まります。

### **(1) 自立心の確立**

多くの参加者にとって、グローバルヴィレッジは新しいタイプの海外旅行となるでしょう。日ごろ当たり前に使っている旅行用の贅沢品などは使えない、全くシンプルな生活を送る旅であり、自分自身のあり方についてじっくり学ぶ貴重な機会として位置づけられています。グローバルヴィレッジ期間中、さまざまな困難に出会い、そのチャレンジを乗り越えることで自立心と精神力が養われる例がこれまで多くみられます。金づちを一度も使ったことのない参加者がどのように家の建築を手伝うか？食べたことのない食事や異質な天候に遭遇した時、どのように対処するか？活動中、参加者は家の土台作りのために地面を掘り起こすだけでなく、自分自信を追求し、内側に秘められた自己の強さとモチベーションを掘り起こすことで困難と向き合い、それらを乗り越える努力を求められます。

### **(2) リーダーシップスキルの向上**

GV チームにはチームリーダーと呼ばれる役職があります。しかし、ひとりひとりの参加者がリーダーシップスキルを磨く機会を得ます。このプロジェクトに参加するためには多くの準備が必要とされます。したがって様々な活動や役割を平等にチームメンバーに分担することが大切であると考えます。参加者全員に役割があり、各参加者の才能や技術を効果的に使う術があるはずで、このハビタットのボランティア活動を通して参加者がその他団体や企業において傑出したリーダーシップを発揮し評価されています。

### **(3) 学習の機会**

GV への参加を様々な学習の機会として活用していただくことができます。多くの高校や大学の教師陣がこの GV プロジェクトを受入国と貧困問題、その他諸々の問題について学ぶ実習の場ととらえています。プロジェクト準備の段階に、ハビタットより、受入国と組織の詳細な情報が提供されますが、真の学びの機会はプロジェクトの期間中に与えられます。実際に現地の文化、習慣、伝統、日々の生活を体験し、住居の必要性について知ることが彼らにとっての学習となります。GV 期間中、実存する住宅問題とその解決に尽力する HFHI の活動の意義を理解する目的で、スラム街を訪問することも可能です。勿論このような訪問をおこなう際には現地スタッフが細心の注意を払い計画を立てます。受入国への入国後、ハビタット現地スタッフによるオリエンテーションがおこなわれますので、この機会に質問を投げかけ、ハビタットの草の根活動に対する理解を深めることをお勧めします。しかし、最も効率の良い学習の手段は、やはり自らが身を持って見るもの、聞くことから吸収することです。現地での滞在期間中はできる限り多くの人々と話し触れ合うことが大切だと考えます。

#### (4) チームとしての結束

グローバルヴィレッジは多くの挑戦を伴うがゆえ、大きな充実感を伴うプロジェクトになります。参加者ひとりひとりが感じるプロジェクト終了後の充実感や満足感は、家を建設していく中で築かれた、他のチームメンバーや現地の人々との友情に帰依するところが多くあります。ひとつのチームとして家を建てている間に、チームの間に団結と友愛の精神が生まれることが期待されます。

また現地に赴く以前の準備の段階から、様々なチーム結束の機会を作ることができます。ハビタットは可能な限り、参加者の皆さんにチームとしての募金活動を企画、実施してもらうよう呼びかけています。またGV 実施のための準備が整っているかどうかをチーム内で確認し合うことで、事前の関係作りをおこなってもらうようにも働きかけています。

GV参加者は皆口をそろえて、現地の人々の暖かさや献身さについて語ります。日ごとにチームの建築を手伝う村人の姿が増え、子ども達ですら小さな小石を運ぶのを楽しそうに手伝います。参加者と現地の人々が共に1軒の家を建てることで、このプログラムは真の意味で“グローバル”になっていきます。

#### (5) 異文化認識と文化交流

グローバルヴィレッジは現地で受入国の文化に深く触れ、現地の人々や日々の暮らしについて学ぶ特別の機会を提供します。単なる海外旅行では見ることのできない、観光客が訪れることのない土地で生活している人々の日々の苦悩であり、祝賀の様子です。参加者はグローバルヴィレッジを通し、ユニークで特別な物事の見方を知り、真の意味での文化交流や異文化理解を体験する機会を得ることができます。

#### (6) 自己再発見

多くの参加者はGVプロジェクトを通し、与えるよりも与えられるものが多かったと振り返ります。与えられた物のひとつとは、自己発見のきっかけです。参加者はプロジェクト遂行に伴い、直面する多くの困難と向かい合いながら自己について学んでいきます。自分自身と向き合い、自分の精神面に触れ、熟考する時間を持ちます。新しい才能や長所を発見するきっかけとなることもあります。また人生における様々な出来事や事実に対し感謝する気持ちを持つようになります。

#### (7) ボランティア精神の向上

GV参加後、多くの参加者が更なるボランティア活動への参加意志を表明します。GVで得た経験に刺激され、理解力と洞察力を身につけた元参加者が再度GVプロジェクトへの参加を希望するのはまれなことではありません。また、自国でNPOやNGOの活動に参加する人もいます。ハビタットはこのような献身的で熱心なGV卒業生からのご報告を受けることをうれしく、また誇りに思います。

#### (8) ビジョンの共有

グローバルヴィレッジからの帰国後、参加者は満ち溢れたエネルギーとビジョンを自発的に他の人々と共有しようとします。すると、彼らもビジョンを受け止め、グローバルヴィレッジチームに参加し、自分も同じような体験をしてみたいと思うようになることがグローバルヴィレッジの特徴でもあります。一度「金づちを握った」者はいつしかハビタット大使となり、帰国後ハビタットのことを多くの人に伝えていきます。理解ある参加者の寛大な精神によりハビタット・フォー・ヒューマニティとグローバルヴィレッジプログラムが支えられていると言っても過言ではありません。アジア太平洋地域の参加者の増加は、同時に貧困住居に対する問題意識の向上と、安全な住居に住む家族の増加を意味します。

## 5. チームリーダーの資質と役割

チームリーダーなしにはグローバルヴィレッジは起こり得ません。リーダーとしての役割は非常に大きいものですが、その分やりがいのある仕事です。チームの成功はチームリーダーに起因すると多くのチームメンバーが語ります。優れたリーダー全てが類似した個性を持っているわけではありませんが、多くの共通した特質が見られます。そのひとつは準備に対する姿勢で、リーダーはチーム出発の6ヶ月には準備を始めなければなりません。

### (1) チームリーダーとしての資質

チームリーダーとしての責任をかってでる前に、以下に挙げられたチームリーダーの資質を参考に自分がリーダーとしてすでに有している強みと弱みを自分なりに分析してみてください。これらの特質の多くは過去実際にリーダーを務めた人たちにより提案されたものです。

- ハビタット・フォー・ヒューマニティの活動について学び、理解しようと努める人
- グローバルヴィレッジプログラムについて学び、理解しようと努める人
- 他の参加者と情報や知識を分け合い、チームメンバーの模範となるよう努める人
- 過去に海外旅行の経験がある人（GV 経験であれば最適）
- プロジェクト遂行のため、参加者のニーズに応えるため時間を作れる人
- プロジェクト遂行のための熱意とスタミナ、自分のプログラム遂行能力に自信のある人
- 参加者ひとりひとりの能力を見極め、的確な仕事を分担できる人
- コミュニケーション能力のある人。読み書き及び物事を明確かつ簡潔に説明できる人
- 組織化及びコーディネーション能力のある人。同時に複数の役割をこなせる人
- 物事が計画通りに進んでいない時にもユーモアセンス、忍耐力、柔軟性を発揮できる人
- 自己動機、精神的な強さを有する人
- 想像力と創造力のある人。革新的なアイデアを受け入れる姿勢のある人
- 異文化への敏感な配慮ができる人。異文化に敬意を表し、受け入れることができる人
- 決断力があり、個人間でおきる衝突を解決する能力がある人
- 仕事の優先順位を見極め、全ての任務をこなせる人
- 参加者に対する思いやりが持てる人
- 正直で頼り甲斐のある人

チームリーダーはいくつもの責任を抱えることとなりますが、これらの責任は分担することができます。参加者全員で仕事を分担すれば、参加者ひとりひとりがチームに貢献できます。またリーダーは役割の分担をおこなうだけでなく、分担された仕事がきちんとこなされているかどうかを確認する必要があります。

### (2) 引率者について

学生チームにはチームリーダーの他に顧問などの引率者に同行してもらうことを強く勧めます。

「引率者」とは責任ある成人であり、過去にGV 経験がある成人が引率者となるのが最も好ましいですが、必ずしも経験者である必要はありません。但し、GV 未経験者の場合は事前に、グローバルヴィレッジとハ

ビタット・フォー・ヒューマニティの活動をよく理解しておく必要があります。また、引率者は必ずしもチームメンバー達が所属している学校の教職員である必要はありません。参加者の保護者やPTAメンバー、卒業生など様々な人が引率者となることができます。また、引率者はリーダーの責任のいくつかを受け持つことができます。引率者となる成人を探すにあたり、ハビタット・フォー・ヒューマニティからアドバイスをご希望の方はご連絡ください。

### (3) チームリーダーとしての役割と業務

チームリーダー、日本側コーディネーター、受入国側コーディネーターの役割と手続きの流れをまとめた表がホームページ上にありますので、必ず目を通して置いてください。以下はチームリーダーとしての役割と業務について、やや詳しく説明したものです。

#### A: 企画

- ホームページ上の説明をよく読み、質問があれば東京にあるハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンのコーディネーターに連絡する。
- グローバルヴィレッジのおおよその時期と期間(7~10日間)を決定する。
- 安全情報や渡航情報などを確認した上で、受入国を選択肢の中から3カ国程度選び、チームメンバー候補者と相談する。
- 参加募集にあたり参加者が興味を示しそうな観光・活動内容を調べる。(ビーチ、ハイキング等)
- 旅行代理店に受入希望の各国への渡航費を問い合わせる。
- 予約金を準備する。
- 候補国から1カ国を選び、「GV チームリクエストフォーム」に必要事項を入力して、日本のコーディネーターにメールで提出する。

#### B: 参加者募集

- 参加者募集人数を確定する(10人以上)。
- 募集するチームの種類を決める(クローズド:一定の地域・学内だけの募集/オープン:一般募集)。オープンにする場合は、担当コーディネーターに連絡する。
- 募集方法を検討し、募集広告の制作や募集用のホームページを立ち上げたりなどする。
- 参加希望者からの問合せに対応し、情報を提供する。
- 募集締切日を設定する。
- 参加希望者との面談等、必要に応じて参加者の選抜をおこなう。
- チームミーティングの日程を調整する。

#### C: チームの結束力を高め、情報を共有する

- 参加者同士の交流の機会を設け、集団としてまた個人的に関係を築く場を提供する。
- チームミーティングとチームの結束力を高める活動やイベントを同時企画する。
- 各参加者の自己紹介文の提出を求め、回収、配布する。
- 参加者全員とハビタット・フォー・ヒューマニティならびにグローバルヴィレッジの情報を共有する。
- 参加者全員と受入国に関する情報を提供する。
- その他必要な情報をEメール、郵便、または直接、参加者に提供する。
- 参加者の質問、疑問等に答え、提案やニーズを汲み取る。

- 参加者の強み、弱みを把握する。
- 参加者の興味のある活動を日程表に組み込む。
- チーム全体の模範となるように振る舞う。
- 参加者全員に仕事を分担する。
- 参加者に持ち物リストを配布する。
- 健康管理に関する情報を集める。

#### D: ハビタットの知識

- HFH ジャパンより「チームリーダー・リソースマニュアル」を購入する(任意)。
- HFH ジャパン主催のチームリーダー・トレーニングに出席する。
- ハビタット・フォー・ヒューマニティ に関する資料を熟読する。
- 疑問点は日本のコーディネーターに質問し、解決する。
- ハビタット・フォー・ヒューマニティのホームページをチェックする。

HFH International: [www.habitat.org](http://www.habitat.org)

HFHI Asia/Pacific: <http://www.habitat.org/ap>

HFH Japan: [www.habitatjp.org](http://www.habitatjp.org)

- 過去同じ国を訪れたチームのビデオがあれば入手する(HFH ジャパンに問い合わせ)。
- 過去同じ国を訪れたチームのリーダーと話す機会を持つ(HFH ジャパンに問い合わせ)。
- 様々なメディア、インターネット、旅行ガイドブックを使い、受入国に関する勉強をする。

#### E: 会計

- 予約金を日本のコーディネーターに送金する。
- 滞在費の概算表を受入国のコーディネーターから取り付ける。
- HFHに支払う寄付金や保険料、航空券代、滞在費、チーム内で発生する諸経費や「緊急用費用」の予備費など見積り、メンバーに知らせる。
- 必要な費用を徴収し、順次支払をおこなう。
- 受け入れ先のコーディネーターとやりとりしながら、滞在費の詳細見積を作成してもらう(滞在費は事前に相手国に送る場合と、現地に現金で持っていく場合の2つがある)。
- 滞在費見積書を参加者に配布し、滞在費を用意してもらう。

#### F: 募金活動

- 寄付金を預金するためのチーム銀行・郵便口座を開設する(任意)。
- 募金活動の必要性和その目的をチーム全員が理解できるよう説明をおこなう。
- チーム内で募金活動の方法について話し合い、仕事を分担する。
- 募金活動が同時に啓発活動となるように意識しながら活動する。
- 集められた寄付金を管理し、寄付金の回収状況をチーム全体に伝える。
- 寄付者にお礼の手紙を送る。

#### G: 提出書類

- 日本のコーディネーターから提出用書類を受け取り、内容の確認をする。

- 全ての書類の内容とその目的を理解したうえで、チームメンバーに配布する。
- 期限通りにメンバーより提出書類を回収する。
- 回収した書類の記入事項、記入漏れがないかどうかを確認し、コピーを保管する。
- 回収した書類の原本を日本のコーディネーターに送付する。
- 日本のコーディネーターの指示に従い、必要な書類は GV に持っていく。

#### H: 受入国との連絡

- 受入国のコーディネーターと密に連絡を取る(日本のコーディネーターに必ずCCする)。
- 受入国のコーディネーターより資料を受け取り、チーム内で情報を共有する。
- 資料の内容に関して不明な点は受入国オフィスのポリシーを事前理解した上でコーディネーターに問い合わせる。
- メンバーの希望を取り入れた日程表や滞在費見積を受入国のコーディネーターと交渉しながら作成する。
- メンバーの食事規制など、受入側に考慮してもらいたいことについて交渉する。
- 受入国のコーディネーターから寄せられた質問事項に答え、必要な情報を提供する。
- GV 終了後のレクリエーション(観光)の選択肢や情報を受入国のコーディネーターに要請する。

#### I: 受入国において

- チームの健康と安全を管理する。
- 怪我、病気、緊急事態が発生した際、必要に応じて相談、対処する。
- チームメンバーを励まし、メンバーの良き相談相手となるよう努める。
- プロジェクトの進行具合を確認するため、毎日チームがミーティングを持てるよう計らう。
- 建築した家の奉納式などで必要に応じスピーチをおこなう。
- 必要に応じ、チームの代表として決断をください。
- 必要に応じ、チームのニーズを現地のハビタットスタッフに持ちかけ、改善を計る。
- 必要に応じ、チーム内での問題を提起したり、問題を抱える個人と向き合ったりする。
- チームが受入国の文化や慣行に十分な敬意を払っているか注意を払う。
- 建築に関わらず全ての活動に積極的に取り組む。
- 経費の明細書を受け取り、不明な点は説明する(必要に応じてメンバーに明細書を配布)。
- チームリーダー用のアンケート用紙を記入し支部に提出する。

#### J: 帰国後

- 参加してくれたチームメンバーにお礼を言う。
- ハビタットから配信される今後の GV の情報をチーム参加者に伝達する。
- 必要に応じ、緊急用費用の残金を参加者に返金する。
- 希望に応じ、チームの同窓会を開く。
- チーム参加者よりエッセイ、日記、写真を集める。
- エッセイ、記事、写真等を日本のコーディネーターに送る。
- チームリーダーレポートに記入し、日本のコーディネーターに提出する。

## 6. HFH ジャパンの役割

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンは、GV チームを送り出す機関でもありチームリーダーが最初に連絡を取るところです。参加の意志が固まっていなくとも、参加費や受入国の選択肢など詳しい情報を入手するために、お気軽にご連絡ください。

### ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン

E メール: info@habitatjp.org

Tel: 03-5330-5571

Fax: 03-5330-5572

チームを率いる決心をしたら、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンのコーディネーターにその旨をご連絡ください。日本のコーディネーターはチームの GV 日程の調整を計ったり、準備のサポートをしたり、チームが規定のGV参加手続きを予定通り進めているかどうかを確かめたりする役目を果たします。

以下に日本のコーディネーターの詳しい役割を説明しています。チームが安全で充実したグローバルヴィレッジ経験ができるよう、いろいろな角度からチームのお手伝いをします。「チームリーダーの資質と役割」で説明されている役割と照らし合わせてご覧いただくことで、それぞれの役割がより明確にご理解いただけるはずです。

#### A: 企画

- 次シーズンの受入国をスクリーニングする。
- チームリーダーが受入を希望する国に関する情報(カントリープロフィール、コストオプションなど)をホームページにアップする。
- 「チーム・リザベーション・フォーム」の記入内容を確認したうえで、第一希望国のコーディネーターと交渉し、「チーム・リザベーション・フォーム」を地域統括マネージャーに送る。
- 受入国のコーディネーターと本部に受入の可否と、受入れアフィリエイト(建築活動をおこなっている支部)を確認する。

#### B: 参加者募集のサポート

- チーム情報をウェブサイトに掲載しメンバー募集のお手伝いをする。
- HFHJ オフィスに問合せをしてきた参加希望者をチームに紹介する。

#### C: 資料配布とトレーニング実施

- 希望者に「チームリーダー・リソースマニュアル(CD-ROM、英語版のみ)」を郵送し(2,000 円)、代金を受け取る。  
マニュアルには以下の資料も含まれる。
  - ハビタットとグローバルヴィレッジのプロモーションDVD
  - 募金活動のアイデアリストとガイドライン
- その他、有益と思われる資料を適宜配布する。

- 4月と10月にチームリーダー・トレーニングを実施する。

#### E: 会計サポート

- 寄付金や保険料などのレシートを発行、送付する。
- 受入国へ寄付金(国によっては滞在費も)を送金する。
- 保険料を徴収し、本部へ送金する。

#### E: 必要書類の取り付け

- 「参加申込フォーム(“Registration Form”)」を送り、それをもとにチームリストと緊急連絡先リストを作成する。
- チームリーダーを通して全員分の「参加申込書(“Registration Form” )」、「責任免除及び請求権放棄書(“Release and Waiver of Liability” )」、「個人情報取扱承諾書」、パスポートのコピーを受け取り、確認する。不備があれば返送する。

#### F: 受入国との連絡のサポート

- チームメンバーリストと緊急連絡先リストをチームリーダーと受入国コーディネーターに送付する。
- チームリーダーと受入国コーディネーターの間で交わされるコミュニケーションの内容をモニターし、問題が生じた際など必要に応じて仲介役となる。

#### G: 現地滞在中のサポート

- 緊急事態が起こった際などに日本側での窓口となり、対応する。

#### H: 帰国後

- 帰国の折にEメールにて挨拶状とチームリーダーレポートのフォームを送る。
- 記入済みのチームリーダーレポートを回収し、次回の改善に取り組む。
- (受入国によっては)、滞在費用の明細が送られるよう手配する。
- 今後のグローバルヴィレッジの情報を送る。
- チームの感想文、写真、ビデオ等の記録をとりつける。

## 8. 未成年の参加者に関する留意点

グローバルヴィレッジ参加に際し留意していただきたい3つの参加要項を以下に挙げています。これらはチームの健康と安全を最大限に保障するために設定されており、厳守していただきたい事柄です。

- 年齢が14～19歳の方は成人\*のチームリーダーの下、もしくはチーム／組織を代表する監督の下にいたることが定義付けられています。
- ハビタットは建築現場においては、成人と未成年参加者の比率が常に1対5となるよう、それ以外の場面においては、成人と未成年者の比率は1対10以上となるよう義務付けています。但しこの場合の成人は日本からの成人引率者に限らず、現地のハビタット建設スタッフや成人ボランティアも成人として数えていただくことができます。
- 14歳から15歳の参加者に関しては、いくつかの活動制限が加えられます。庭造り、ペンキ塗り、食事の準備の手伝い、その他比較的簡単な作業に従事していただきます。
- 16, 17, 18, 19歳までの参加者は、屋根の上または地上から1.8メートル以上の高所での作業、また電動機械の使用、掘削、重量の重い資材の持ち運びは禁じられています。
- GVの期間中、チームリーダーもしくはチームにはいかなる危険も起こりうると想定しています。チームリーダーもしくはチームは「親権者同意書(Parental Authorization for Treatment of a Minor child)」に基づきすべての医療判断決定権利に関しては責任を負うこととなります。
- 同意書類には未成年参加者のご両親と適切な立会人に署名をしていただく必要があります。同意書類に署名することにより、医療判断決定権利をチームリーダー、または組織の成人代表者や「親権者同意書」に書かれた他の成人に譲渡することに両親が同意し、ハビタットやチームリーダーが損害を受けない事に同意することとなります。
- リーダーを含め全参加者は「参加申込書(Registration Form)」を提出する必要があります。
- 全参加者はHFHジャパンが指定する保険を購入することで最低限のHFHI基準の保険に加入することとなります。
- 全参加者は受入国から送られるオリエンテーション packets に記されている文化的行動的予期を理解し、それらに従うことに同意していただきます。

\*「成人」とは日本国と受入国における法的な「成人」年齢の規定が異なる場合、「成人年齢」が高く設定されている方の国の規定に従い「成人」を定義します。例えば、日本における法的成人年齢は20歳ですが、フィリピンでは18歳です。そこで日本からのGVチームがフィリピンで活動を行う場合、フィリピンよりも「成人」年齢が高く設定されている日本の法律を優先し、この場合の「成人」は20歳以上の者となります。優先される成人年齢に従い、チーム内の成人と未成年者の割合をはかってください。

## 9. グローバルヴィレッジ参加費

グローバルヴィレッジ参加にあたり、様々な費用が生じます。チームリーダー(および会計係)は以下の費用に関する事項をよく理解した上で、チームメンバーに説明し必要な費用を徴収しなければなりません。以下の表は GV チーム参加に関わる全費用、送金先を明記してあります。また、GV 参加費用についてのご質問は、担当のコーディネーターまでご連絡下さい。

費用	徴収方法	支払方法
<b>A: 現地滞在費(In Country Costs)</b> 宿泊費、食費、受入国での交通費を含む	受入国による	持参して受入国のコーディネーターに渡すか、事前に送金する(受入国による)。
<b>B: ドネーション(プログラムに参加していただく際にお願ひする寄付金)</b> 担当コーディネーターから額を連絡	保険料と合わせ、リーダーまたは会計係がチームメンバー全員から徴収	HFH ジャパンの指定口座へ銀行振り込み
<b>C: グローバルヴィレッジ保険(Insurance)</b> 350 円/人/日	リーダーまたは会計係がチームメンバー全員から徴収	HFH ジャパンの指定口座へ銀行振り込み
<b>D: 1. レクリエーション(観光)費</b> <b>2. 国内線の手配 (Domestic Flight)</b> <b>3. 移動中の宿泊先 (In Transit Accommodation)</b> * A の滞在費に含まれる場合が多い。	リーダーまたは会計係がチームメンバー全員から徴収	持参して受入国のコーディネーターに渡すか、事前に送金する(受入国による)。
<b>E: チーム事務管理費</b> <b>(送金、書類郵送等に掛かる事務費)</b> <b>(Team leader Admin Fee)</b>	リーダーまたは会計係が事前に各チームメンバーより一定の金額を徴収	チームリーダーが管理
<b>F: 緊急用費用(Emergency Money)</b>	リーダーまたは会計係が事前に各チームメンバーより一定の金額を徴収	チームリーダーが管理
<b>G: 渡航費用(Airfare)</b>	予約が確保された時点でリーダーまたは会計係が事前に各チームメンバーより徴収	旅行代理店が指定する口座に振り込み

#### A: 現地滞在費 (IN COUNTRY COSTS)

「現地滞在費 (In Country Costs)」はグローバルヴィレッジ滞在中の食費、宿泊費、交通費を含みます。他にも飲料水代、スナック代、洗濯代、必要に応じて宿舍の守衛を雇う際の費用等も含まれます。受入国によっては、GV チーム受入れの際に生じる「事務管理費」を「国内生活費 (In Country Costs)」に含んでいる場合もあります。生活費の詳細や内訳は、受入国のコーディネーターより送られる予算見積り書にてご確認ください。

生活費は、国によってまた受入支部によっても異なりますが、どの国も1日1人あたりの生活費を米ドルに換算して見積もります。

滞在費は、各受入国のコーディネーターの指示に従って、出発1ヶ月前までにHFHジャパン経由で受入国指定の銀行口座宛に送金するか、直接現地に現金またはトラベラーズチェックを持参するかになります。受入先の物価、地理的環境によってはチームの希望通りの予算内で全てを準備することが困難な場合もあります。あくまでも「希望」予算枠である旨をご了承ください。国によってはGVプロジェクト終了後、チームリーダー宛てに明細書が送られます。

#### B: ドネーション(プログラムに参加していただく際にお願いする寄付金)

グローバルヴィレッジに参加していただく方には一定額以上の寄付金をお願いしています(額については担当コーディネーターからご連絡します)。これは受入先のハビタットオフィスで建築資材の購入や人件費、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンと受入国両方が今後このプログラムを維持発展するための費用などに充てられます。チームリーダーは、出発の遅くとも30日前には寄付金と保険料を合わせた額をハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンへ送金します。寄付金については、募金活動などを実施して集めるチームも多くあります。募金活動の実施方法は各チームにお任せします。個人でも行っていただいても、チームとして実施していただいても構いません。

#### C: グローバルヴィレッジ保険 (INSURANCE)

参加者にはメデックス (MEDEX) というボランティア傷害保険を購入していただきます(手続きはHFHジャパンで代行します)。メデックスは、あらゆる非常事態に対応し、海外への渡航や建築現場での作業に関わる危険性に対処するために購入していただく保険です。

保険購入期間と金額に関しては、日本のGV派遣コーディネーターが計算します。購入期間は基本的に日本出発日から帰国日までとし、購入代金は1日1人当たり350円となります。またこの保険は、受入先でのグローバルヴィレッジプロジェクト期間中及びレクリエーション(観光)の際にも適応されます。チームリーダーは、保険代を参加者全員から徴収し、寄付金と一緒に一括でHFHジャパンに支払います。

#### D. レクリエーション(観光)費 (R&R MONEY) / 国内線の手配 (DOMESTIC FLIGHTS) / 移動中の宿泊先 (IN TRANSIT ACCOMMODATION)

##### 1. レクリエーション(観光)費 (R&R MONEY)

GVのプランにはレクリエーションを組み込むことができます。ハビタットオフィスの提案するレクリエーションプランに参加するか、チームリーダーが独自で探したレクリエーションを手配するかはチーム次第です。レ

クリエイションプランとその費用は、受入先の国、期間、チームの予算、受入国と日本円での両替レートによりまちまちです。

## 2. 国内線の手配(DOMESTIC FLIGHTS)

またチームが建築をおこなう現地に辿り着くまでに国内線が必要な場合、例外を除き、受入国のコーディネーターがチームリーダーと相談しながら国内線の手配を代行します。チームリーダーは、他の費用の徴収と同時に国内線の渡航費用も参加者から徴収する必要があります。チームの国内線費用は寄付金を現地のハビタットオフィスに送金する際(遅くとも現地到着の1ヶ月前)、同時に送金することになります。

## 3. 移動中の宿泊先(IN TRANSIT ACCOMMODATION)

チームによっては、受入国への到着便から国内線への乗り継ぎの間に現地で一泊しなければならないような状況があるかもしれません。そのような場合、乗り継ぎの国内線の手配と同様、受入国のコーディネーターがチームのために宿泊先を手配することができます。宿泊費用はチームリーダーが受け取る予算書の一部として組み込まれます。予算書の内訳がチームリーダーに分かり易くなるよう、このような宿泊費は、グローバルヴィレッジ中の生活費や宿泊費とは別項目として記載されます。

## E: チーム事務管理費(Team Leader Admin Fee)

チーム事務管理費は、ハビタットに支払うグローバルヴィレッジ参加費用とは別に、チームリーダーがメンバーから集める必要経費です。チームを編成する際に発生する下記のような費用を補うために、チームリーダーが一定額の事務管理費を設定し徴収します。

- 通信諸費用(電話代、インターネット代、郵便代、送金手数料など)
- コピー代
- マニュアル代(チームリーダー・リソース・マニュアルなど)
- チームリーダー・トレーニングなどワークショップ諸費用(参加費、交通費、宿泊費など)

## F: 緊急用費用(Emergency Money)

チーム事務管理費と同様に、チームは緊急用費用を準備しておくことをお勧めします。チームリーダーはこの費用を管理、携帯し、非常時またはチームの合意をえた場合の活動費としてのみ使います。

## G: 渡航費用(Airfare)

ハビタット・フォー・ヒューマニティはグローバルヴィレッジ参加者のための航空券の手配は代行しませんので、チームリーダーは受入国が決まった時点で、手配を行ってください。チーム全員分の航空券をまとめて手配することをお勧めします。個別手配の場合、チームリーダーは各参加者の渡航情報を把握しなければならず、航空機の遅延などがあった場合、対応に追われることになります。

なおコーディネーターの数が限られていることを考慮していただき、できるだけチーム全員が同じ日の同じ便で受入国に到着するようにしてください。空港が建築サイトから離れていることも多く、到着がばらばらだと宿泊や交通の手配などでコーディネーターに負担がかかります。

また渡航費用はゴールデンウィークなどピークシーズンの際は高くなること、予約が取りにくい場合が多いことをご了承ください。早めの手配をお勧めします。